

2月3日(土)

## 令和6年度 A日程入学試験問題

# 選 択 科 目

### — 注意事項 —

- 1 問題ページは以下のとおり。解答用紙はいずれの科目も1枚である。

日本史	1 ~ 13 ページ	世界史	14 ~ 26 ページ
政治・経済	27 ~ 47 ページ	数学①	48 ~ 53 ページ
数学②	54 ~ 61 ページ		

- 2 試験開始後、問題を見てから解答する科目を選択することができる。

選択した科目は、解答用紙の科目名欄へ指示にしたがって記入し、選択欄を必ずマークすること。

※数学を選択する場合は、文学部、神道文化学部、法学部、人間開発学部は「数学①」を、経済学部、観光まちづくり学部は「数学②」を解答すること。

- 3 解答は、解答用紙の解答マーク欄へ問題の指示にしたがってマークすること。

解答用紙は全科目共通であるから、科目によってはマークしなくてもよい解答マーク欄がある。

なお、数学の解答のみ解答用紙裏面の「B面」に解答すること。

- 4 裏表紙に数学の解答上の注意が記載してあるので、この問題冊子を裏返して読んでおくこと。

- 5 試験時間は60分である。

# 世 界 史

**1** この問題は、解答欄  ～  に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

ユーラシア大陸の東部に位置する東アジア地域は、多様な自然環境を背景に、歴史的にもさまざまな文化が展開してきた。とくに黄河・長江を中心に発生した中国文明は、やがて周辺地域に影響を与えながら、地域間の相互交流をうながした。(1) 前5千年紀には黄河中流域で仰韶文化がおこり、前3千年紀には黄河下流域を中心に竜山文化が拡がりを見せた。

地域間の交流にともない、集団相互の争いも起こるようになり、政治的な統合がすすんだ。黄河の中・下流域では小規模な集落が形成され、やがて城壁で囲まれた都市が発生し、さらにそれらを広域的に統合する強力な国家が成立した。殷(商)は、それ以前の  に続いておこったとされる王朝であり、その遺跡からは甲骨文字が刻まれた大量の亀甲や獣骨、祭祀に用いられた精巧な青銅器が出土している。

はじめ殷に服属していた (3) 周は、前11世紀頃に殷を滅ぼして、華北一帯を支配した。 その際、一族・功臣や在地の首長を諸侯とし、彼らに領地を与えてその地を支配させた。このような統治の方法を  という。血縁集団として氏族のまとまりが重視され、(5) 宗法 という規範がつけられた。

その後、前8世紀に周の支配が衰えると、諸侯らが各地で自立しはじめた。中でも有力な諸侯は  とよばれ、周王の権威を利用しながら列国の主導権を争った。この時代を春秋時代という。諸国間の抗争は激化の一途をたどり、前403年に大国の晋が3国に分裂して戦国時代に入ると、周王の権威は無視され、諸国は独自に富国強兵策をすすめていった。多くの小国が併合されていき、やがて秦・斉・燕・楚・韓・魏・  の七つの強国が分立した。これを戦国の七雄という。

春秋・戦国時代には、各国の競争の中で諸子百家とよばれる多くの思想家や学派が登場した。儒家の祖とされる孔子は、身近な家族道徳である  を実行することで、理想的な社会秩序が実現できると説いた。老子や  などの道家は、あるがままの自然に道理を求めて無為自然をとらえた。戦国の七雄の一つとして頭角をあらわした秦は、  を採用して改革を断行し、他の六国を次々と滅ぼして、前221年に中国を統一した。

問1 下線部(1)に関連して、仰韶文化と竜山文化について述べた文として、最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 仰韶文化は黒色磨研土器である黒陶を特徴とし、竜山文化は動物文様をもつ金属製の武器を特徴としている。

イ 仰韶文化は黒色磨研土器である黒陶を特徴とし、竜山文化は彩色文様のある彩陶を特徴としている。

ウ 仰韶文化は青銅製の銅鼓を特徴とし、竜山文化は彩色文様のある彩陶を特徴としている。

エ 仰韶文化は青銅製の銅鼓を特徴とし、竜山文化は黒色磨研土器である黒陶を特徴としている。

オ 仰韶文化は彩色文様のある彩陶を特徴とし、竜山文化は黒色磨研土器である黒陶を特徴としている。

問2 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次のア～キの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 氏      イ 宋      ウ 夏      エ 魯      オ 羌      カ 趙      キ 蜀

問3 下線部(3)に関連して、周が都を置いた場所として、最もふさわしい地名を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 殷墟      イ 鎬京      ウ 北京      エ 建康      オ 平城

問4 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 郡国制      イ 郡県制      ウ 州県制      エ 部族制      オ 封建制

問5 下線部(5)について述べた文として、最もふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア それまでの慣習法を成文化し、強大な家父長権や貴族と平民との通婚禁止などを定めた。

イ 貴族の諸権利の保障を定めた。

ウ 親族関係の秩序や、それに応じた祭祀のしかたを定めた。

エ 神から授けられたとされる、宗教上の教えや生活規範を定めた。

オ 王の義務や刑法をまとめ、階層ごとに人々の生活規範を定めた。

問6 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 大夫      イ 卿      ウ 覇者      エ 郷勇      オ 郷紳

問7 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、問2の ア～キ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問8 空欄  に入るのに最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 礼      イ 理      ウ 信      エ 孝      オ 忠

問9 空欄  に入るのに最もふさわしい人物を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 荀子      イ 墨子      ウ 孟子      エ 孫子      オ 莊子

問10 空欄  に入るのに最もふさわしい人物を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア 商鞅      イ 董仲舒      ウ 蘇秦      エ 屈原      オ 鄭玄

**2** この問題は、解答欄 21 ～ 31 に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

1945年、仏領インドシナでは 21 がベトナム民主共和国の独立を宣言した。フランスは1949年に 22 を元首としてベトナム国を建て、民主共和国に対抗させた。1954年、フランスは 23 で大敗し、 24 会議で休戦協定を結んだ。フランスはインドシナから撤退し、北緯17度線が暫定軍事境界線に設定された。

24 会議に参加したアメリカ合衆国は、休戦協定の調印を拒否した。1955年には、合衆国の支援を受けた 25 が 22 を追放し、南部にベトナム共和国を樹立して、北のベトナム民主共和国と対立した。

1960年、南ベトナム解放民族戦線が結成され、ベトナム民主共和国の支援を受けてゲリラ戦を展開した。アメリカ合衆国の 26 政権は南ベトナムへ積極的な軍事支援を開始し、続く 27 政権は、1965年から北ベトナムへの大規模爆撃にふみきり、ベトナムに20万人の地上軍を派遣した。派遣されたアメリカ軍は1968年に50万人を超えた。(28)ソ連と中国は北ベトナムと解放戦線に軍事的・経済的支援を行い、戦局は泥沼化した。合衆国の軍事介入は強い国際的批判を浴び、世界中に反戦世論を巻き起こした。

1968年、 29 で南北ベトナム両政府・アメリカ合衆国・解放戦線の4者による和平交渉が始まった。同年の合衆国大統領選挙で当選した 30 は、アジアへの軍事介入の縮小を提唱し、地上兵力を南ベトナム政府軍にゆだねる方針を表明した。

1973年1月、 29 で和平協定が締結され、 30 はアメリカ軍のベトナム撤退を実現させた。1975年4月、北ベトナム軍と解放戦線が南ベトナムの首都を占領し、1976年に (31)ベトナム社会主義共和国が成立した。

問1 空欄 21 に入るのに最もふさわしい人名を、次の ア～シ の中から1つ選び、解答欄 21 にマークしなさい。

- |           |              |           |
|-----------|--------------|-----------|
| ア スハルト    | イ ファン＝ボイ＝チャウ | ウ シハヌーク   |
| エ ヘン＝サムリン | オ ゴ＝ディン＝ジエム  | カ バオダイ    |
| キ ホー＝チ＝ミン | ク アギナルド      | ケ ホセ＝リサール |
| コ ポル＝ポト   | サ アウン＝サン     | シ スカルノ    |

問2 空欄 22 に入るのに最もふさわしい人名を、問1の ア～シ の中から1つ選び、解答欄 22 にマークしなさい。

問3 空欄  に入るのに最もふさわしい地名を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア サイゴン                      イ ユエ (フエ)                      ウ ハノイ                      エ ディエンビエンフー  
オ トンキン湾

問4 空欄  に入るのに最もふさわしい地名を、次の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア サンフランシスコ                      イ テヘラン                      ウ ニュルンベルク                      エ カイロ  
オ ジュネーヴ                      カ バグダード                      キ パリ                      ク ポツダム  
ケ ワルシャワ                      コ コロンボ

問5 空欄  に入るのに最もふさわしい人名を、問1の ア～シ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問6 空欄  に入るのに最もふさわしいアメリカ合衆国大統領を、次の ア～シ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア ケネディ                      イ オバマ                      ウ フーヴァー                      エ アイゼンハワー  
オ クリントン                      カ レーガン                      キ ブッシュ (父)                      ク ジャクソン  
ケ ジョンソン                      コ トルーマン                      サ ニクソン                      シ カーター

問7 空欄  に入るのに最もふさわしいアメリカ合衆国大統領を、問6の ア～シ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問8 下線部 (28) に関連して、中ソ対立について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア ゴルバチョフはスターリンを批判し、西側との平和共存路線を明確にした。  
イ 毛沢東はソ連の平和共存路線を批判し、独自の社会主義建設を目指した。  
ウ 1960年には、中ソ国境ウスリー川の珍宝島で軍事衝突が起きた。  
エ 1969年、ソ連は中国に派遣していた技術者全員を帰国させた。  
オ 1989年にフルシチョフが訪中し、対立に終止符が打たれた。

問9 空欄  に入るのに最もふさわしい地名を、問4の ア～コ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問10 空欄  に入るのに最もふさわしいアメリカ合衆国大統領を、問6の ア～シ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問11 下線部 (31) について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 南部の社会主義化により、経済活動が安定した。
- イ 1979年、中国に侵攻して中越戦争が起こった。
- ウ 1987年、カンボジアに軍を派遣した。
- エ 1989年、カンボジアから軍を撤退させた。
- オ 1996年、ドイモイ政策を開始した。

**3** この問題は、解答欄  ～  に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

古代ギリシアの人々は先進のオリエントの文明から多くを学びつつ、人間中心の独創的な文化を発展させた。

アルカイック期（前8世紀から前6世紀）の  はギリシア神話の源流となる長大な叙事詩をうたい、(42) ギリシア文学の嚆矢となった。その後の古典期（前5世紀から前4世紀）には民主政のアテネが文化の中心となり、アテネの野外劇場では市民に向けた演劇が上演された。

古代ギリシアの市民共同体では、神や王の権威によらず、議論の相手を論理によって合理的に説得することが重んじられた。その結果、神話ではなく、(43) 合理的な根拠に基づく自然の原理の解明が試みられた。(44) 前5世紀のアテネに生まれたソクラテスは対話によって相手に自らの無知を自覚させ、真の知に至る方法を説いた。こうした知的営為は「知を愛すること」という意味の (45) フィロソフィア（哲学）と呼ばれた。

古代ギリシアの神殿建築や人物彫刻では調和と均整の美しさが求められた。前5世紀に建造された、荘厳で力強い  式のパルテノン神殿はギリシア建築を代表する傑作である。

前4世紀のマケドニア王 (47) アレクサンドロス大王は、東方遠征によって (48) アケメネス朝ペルシアを征服し、地中海から中央アジア、インドに及ぶ大帝國を建設した。帝國はアレクサンドロスの急死によって解体されたが、東方に拡大したギリシア文化はオリエント各地域の文化と融合し、ヘレニズム文化が生まれた。

ヘレニズム時代には (49) 自然科学が発展した。ヘレニズム文化の中心地だったエジプトのアレクサンドリアには王立研究所（ムセイオン）と巨大な図書館が作られた。この時期には  と呼ばれるギリシア語の共通語も普及した。

9世紀以降のイスラーム世界では、医学、天文学、数学などのギリシア語の文献がアラビア語に翻訳され、それらの学問は実験や観測、臨床を通じてさらなる発展を遂げた。イスラーム世界に受け継がれたギリシアの学知は、その後、地中海を經由してラテン語に翻訳され、(51) 中世から近世のヨーロッパで広く受容されることになった。

問1 空欄  に入るのに最もふさわしい人名を、次のア～エの中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

ア ウェルギリウス      イ エピクテトス      ウ ホメロス      エ リウイウス

問2 下線部 (42) に関連して、古代ギリシアの文学について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア アイスキュロスは『女の平和』で政治家や知識人を風刺した。
- イ ピンダロスは『イリアス』でトロイア戦争の顛末をうたった。
- ウ ヘシオドスは『労働と日々』で農民の日常と労働の重要性をうたった。
- エ ヘロドトスは『オイディプス王』で人間の不条理な運命を悲劇として描いた。

問3 下線部 (43) に関連して、イオニア学派の自然哲学について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア イオニア学派の祖であるタレスは万物の根源を火と考えた。
- イ デモクリトスは万物の根源をそれ以上分割できない原子（アトム）からなると考えた。
- ウ ピタゴラスは自然と地理についての百科事典『博物誌』を著した。
- エ ヘラクレスは万物の根源を変化し続ける水と考えた。

問4 下線部 (44) について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。
- イ 先住民を隷属農民のヘイロータイとして支配した。
- ウ ソロンが貴族と平民の調停者として改革を進めた。
- エ ペイシストラトスが平民の支持を受けて非合法の僭主政治を実現した。

問5 下線部 (45) に関連して、前5世紀から前4世紀の古代ギリシアの哲学について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア アリストテレスは経験と観察を重んじ、諸学問の体系化を試みた。
- イ 情念の支配を拒んで禁欲を重視するエピクロス派が多くの人々の支持を得た。
- ウ ストラボンがギリシア哲学と初期のキリスト教の神秘思想を結びつけた。
- エ プラトンの対話篇を編纂したソクラテスは哲学に基づく理想の国家論を説いた。

問6 空欄  に入るのに最もふさわしい語を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア アルゴス      イ イオニア      ウ コリント      エ スパルタ      オ ドーリア

問7 下線部 (47) について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア アンティオキアを都とするセレウコス朝シリアを滅ぼした。
- イ イッソスの戦いでダレイオス3世のペルシア軍に大勝した。
- ウ カイロネイアの戦いでパルティアを征服した。
- エ デロス同盟のもとにギリシアの諸ポリスを服属させた。

問8 下線部 (48) について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア 地中海のクレタ島に侵攻し、クレタ文明を征服した。
- イ フェニキアにマッサリア、ネアポリスなどの植民都市を建設した。
- ウ マニ教を国教と定め、ゾロアスター教を弾圧した。
- エ メディア、リディア、新バビロニアを滅ぼし、オリエントを統一した。

問9 下線部 (49) に関連して、ヘレニズム時代の自然科学について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア アルキメデスはムセイオンで学び、平面幾何学を大成した。
- イ エウクレイデスは浮体の原理を発見した。
- ウ エラトステネスは各地を旅行し、『地理誌』を著した。
- エ アリスタルコスは地球の自転と公転を指摘し、地球と太陽の距離を算出した。

問10 空欄  に入るのに最もふさわしい語を、次の ア～オ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア アイオリス      イ コイネー      ウ サッフオー      エ ファランクス
- オ ヘレネス

問11 下線部 (51) に関連して、12世紀から13世紀にかけてのヨーロッパにおける文化の発展について述べた文として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄 51 にマークしなさい。

ア 中世ドイツを代表する英雄叙事詩の『ニーベルンゲンの歌』が完成した。

イ カール大帝の宮廷を中心として古典文化の復興運動であるカロリング＝ルネサンスが興った。

ウ 12世紀後半、パリ大学を模範としてイギリス最古のケンブリッジ大学が設立された。

エ ロジャー＝ベーコンが『神学大全』で中世キリスト教神学を体系的に解説した。

**4** この問題は、解答欄 **61** ～ **70** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(25点)

16世紀ヨーロッパでおこった (61) 宗教改革は、主権国家群の形成をおしすすめたとともに、近代経済形成に向けて与えた影響も小さいものではなかった。

宗教改革の始まりは、ドイツの (62) マルティン＝ルターが1517年に、教皇レオ10世が **63** の改修費にあてるために認めた贖宥状の販売を批判し、95ヶ条の論題を提起したことであった。彼は、人は信仰のみによって救われると主張した。ルターは、(64) 教皇から破門されたが、皇帝カール5世は、帝国の統一を維持するため、1521年、ルターを帝国議会へ呼びその説の撤回を求めたが、ルターはこれを拒否した。

スイスではツヴィングリがチューリヒで宗教改革を開始したが、その後カルヴァンが **65** で独自の宗教改革をおこなった。カルヴァンは、魂が救われるかどうかは、あらかじめ神から決められているという予定説を説いた。そして、信徒は神から与えられた職業に禁欲的にはげむべきであり、その結果としての蓄財は許されると説いた。このため、カルヴァン派は、西ヨーロッパの商工業者を中心に広がっていった。

フランスでは、16世紀半ば以降、南フランスを中心に貴族や商工業者のあいだにカルヴァン派が急増し、カトリックとの対立が激化していた。この対立に大貴族の権力争いも重なって、サン＝バルテルミの虐殺をまねいた。この過程でヴァロワ朝が断絶したため、ユグノー側の指導者アンリ4世がブルボン朝をひらいた。彼は信仰より国家統一を優先し、カトリックに改宗したうえで1598年に (66) ナントの王令を発してユグノーの信仰の自由を認め、内乱をおさめた。

ドイツでは1555年に **67** の宗教和議が成立したのちも、カトリックとプロテスタントの宗派対立は続き、1618年ベーメン（ボヘミア）のプロテスタントがカトリックのハプスブルク家支配に対抗したことから、ほぼヨーロッパ全体を巻き込む三十年戦争が始まった。カトリックの側では、スペインがハプスブルク家を支援する一方、プロテスタント側でも、国王 **68** が率いるスウェーデン軍がドイツへ侵入し、戦禍が拡大した。しかし戦争ではカトリック国であるフランスがプロテスタント側につき、戦争後半にはヨーロッパの覇権争いの傾向も強まった。1644年から講和会議が開かれ、1648年に (69) ウェストファリア条約が締結されて、紛争は終結した。

その後、ヨーロッパでは主権国家体制が強まったが、三十年戦争当時は (70) 傭兵が軍隊の中心を占めていたため、略奪が横行し、戦場となったドイツは荒廃した。

問1 下線部(61)に関連して、改革への動きは以前から始まっていた。14～15世紀におこったそのような改革について説明した文として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **61** にマークしなさい。

ア ドイツ騎士団がコンスタンティノープルを占領した。

イ イスラム教徒に支配されていたイベリア半島の住民が、キリスト教国再興をめざして戦った。

ウ ベーメン(ボヘミア)のフスがローマ教会を批判し、異端として処刑された。

エ イギリスで国王ジェームズ1世の離婚問題をきっかけとして、ローマ教皇との間に確執が生まれた。

問2 下線部(62)に関連して、ルターの改革の内容が広まった理由について説明した文として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **62** にマークしなさい。

ア プロイセン王のフリードリヒ2世に保護されたため。

イ 活版印刷や版画によって宣伝されたため。

ウ トリエントの公会議で認められたため。

エ 著名な神学者アウグスティヌスが著書で薦めたため。

問3 空欄 **63** に入るのに最もふさわしい語句を、次のア～オの中から1つ選び、解答欄 **63** にマークしなさい。

ア ピサ大聖堂                      イ サン＝ピエトロ大聖堂                      ウ シャルトル大聖堂

エ ケルン大聖堂                      オ ノートルダム大聖堂

問4 下線部(64)に関連して、かつて教皇に破門された人名として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 **64** にマークしなさい。

ア ピピン3世

イ グレゴリウス7世

ウ ハインリヒ4世

エ カルロス1世

問5 空欄  に入るのに最もふさわしい都市名を、次の ア～キ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア ベルリン                      イ ベルン                      ウ ミュンヘン              エ ジュネーヴ  
オ ニュルンベルク              カ アウクスブルク              キ ハンブルク

問6 下線部 (66) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア ルイ13世治世下に、リシュリユーが王権強化に努めたため、廃止された。  
イ この王令に反対してフロンドの乱がおこった。  
ウ スペイン継承戦争をきっかけとして、この王令が定めた宗教的自由が拡大した。  
エ ルイ14世の王権が強化されたため、廃止された。

問7 空欄  に入るのに最もふさわしい都市名を、問5の ア～キ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

問8 空欄  に入るのに最もふさわしい人名を、次の ア～ク の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア ヴァレンシュタイン              イ フィリップ4世              ウ ウラディミル1世  
エ ヘンリ7世                      オ グスタフ＝アドルフ              カ クヌート  
キ ワット＝タイラー              ク エドワード3世

問9 下線部 (69) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～エ の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ア フランスとスペインの合併が禁止された。  
イ オーストリアがハンガリーとトランシルヴァニアを獲得した。  
ウ フランス領であったアルザスの独立が承認された。  
エ ドイツでカルヴァン派が認められた。

問10 下線部 (70) に関連して、三十年戦争で傭兵隊長として活躍した人名として最もふさわしいものを、問8の ア～ク の中から1つ選び、解答欄  にマークしなさい。